

市民がつながる

No.1映画上映会

「さとにきたらええやん」上映会 & 重江良樹監督との意見交換会

2018年3月17日(土) 開場 13:30 開演 14:00

生駒市コミュニティセンター・文化ホール

生駒市元町1-6-12 セイセイビル内 ※公共交通機関でお越しください

入場無料(要整理券)/バリアフリー上映会(音声ガイドの貸出有り)/託児有り

上映作品「さとにきたらええやん」

2015年/日本/カラー/100分/日本語字幕付



いつでもおいで。

日雇い労働者の街・大阪市西成区釜ヶ崎で
38年間続く「こどもの里」。

人情が色濃く残る街の人々の奮闘を描く、
涙と笑いあふれるドキュメンタリー

子どもも大人も集まるみんなの“さと”。障がいの有無や国籍の違いに関わらず、0歳から概ね20歳までの子どもが無料で利用できます。学校帰り、一時的な宿泊、様々な事情から親元を離れている子、そして親や大人たちも休息できる場、それぞれの家庭の事情に寄り添い、地域の貴重な集い場として在り続けてきました。本作は大阪在住の重江監督が取材を始め足かけ7年、初監督作品として完成させました。時に悩み、立ち止まりながらも全力で生きる子どもたちと全力で向き合う大人たちに密着。子どもたちの繊細な心の揺れ動きを丹念に見つめ、子どもも大人も抱える「しんどさ」と向き合いながらも立ち向かう姿を追いました。

現在(いま)求められている“居場所”の原風景
めまぐるしく移り変わる現代社会のなかで、子どもたち
を巡る環境も急激に変化している今、あらためて注目さ
れている「こどもの里」の“取り組み”が、これからを歩
む私たちに問いかけるものとは—?



作品公式HP

ゲスト

重江良樹(しげえ よしき)監督



1984年、大阪府出身。ビジュアルアーツ専門学校大阪卒業後、映像制作会社勤務を経てフリー。2008年に「こどもの里」にボランティアとして入ったことがきっかけで2013年より撮影し始める。本作が初監督作品。

「こどもの里」とは

1977年設立の「子どもの広場」を前身とし1980年に現在の場所で「こどもの里」を開設。以後、子どもたちの遊び場であると共に、各家庭のケースに応じた短中期的な宿泊機能、長期的な養育をおこなう里親としての機能を持つ。

時間

13:30 開場

14:00 上映「さとにきたらええやん」(100分/字幕付き)

15:40 休憩(10分)

15:50 重江監督トーク&意見交換会(手話通訳有り)

16:50 終了予定

入場整理券

2月25日(日) 午前9時30分～

下記の6施設にてお1人様2枚まで配布します。

- ・北コミュニティセンターISTAはばたき
- ・たけまるホール
- ・南コミュニティセンターせせらぎ
- ・鹿ノ台ふれあいホール
- ・図書会館
- ・コミュニティセンター

※開場時間を過ぎて来場された場合、入場整理券をお持ちであっても入場していただけないことがあります。

託児

利用料お1人につき100円・定員10名程度

申込方法: 3月7日(水)までに名前(保護者様及びお子様)・年齢・人数を明記の上、NPO法人なら国際映画祭実行委員会あてに電話かFAXまたはメールにてお申し込みください。

電話: 0742-95-5780 / FAX 0742-26-3507 / info@nara-iff.jp

主催: 生駒市

企画運営: NPO法人なら国際映画祭実行委員会(市民がつながるNo.1映画上映会委託事業)

問合せ先: NPO法人なら国際映画祭実行委員会 事務局 0742-95-5780(平日10:00~17:00)



なら国際映画祭
Nara International Film Festival